

## 取扱説明書

### 完全ワイヤレスイヤホン PLUS

型番：HSP-W530N 品番：03-2258



**OHM** 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは [お客様相談室](#) へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
**0120-963-006 048-992-2735**

電話 平日9:00~17:00  
受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は [修理ご相談センター](#)へ

電話 **048-992-3970** 平日9:00~17:00  
受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

このたびは、AudioComm® 完全ワイヤレスイヤホン PLUSを  
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前に  
この取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、  
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項	1
充電式電池について	1
安全上のご注意	2~4
Bluetoothについて	5~6
各部の名称	7
イヤホンの装着方法	8
充電のしかた	8~9
マルチファンクションボタン(イヤホン)の操作方法	9
電源のオン/オフ	10
ペアリングのしかた	11~12
音楽を聴くときの操作	13
通話に関する操作	14
LEDライト	15
ストラップの取り付けかた	15
お手入れのしかた	15
故障かなと思ったら	16
主な仕様	17
保証書とアフターサービスについて	18

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 充電式電池について

**絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。**

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：イヤホン及びスピーカーに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自自治体にご相談ください。

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。



### 危険

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

- **充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない**
  - 本製品(イヤホン及びスピーカー)には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
  - 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因になるおそれがあります。
  - 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。



### 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- **心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは、装着部位から22cm以上離す**
  - 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- **雷が鳴り始めたら、安全のためイヤホン、スピーカー及び充電コードに触れない**
  - 感電するおそれがあります。
- **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する**
  - そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
  - 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- **万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する**
  - そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
  - 販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- **分解、修理、改造しない**
  - 火災・感電の原因になります。
- **航空機内や医療機器の近くで使わない**
  - 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

## 安全上のご注意(つづき)

**警告** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
  - ・高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- イヤホンやスピーカー、充電コードの上に重いものをのせない
  - ・破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因になります。
- 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
  - ・コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 付属の充電コード以外では充電しない
  - ・火災や感電、機器の故障の原因になります。
- 運転中は本製品及びスマートフォンを使用しない。運転中にスマートフォンの画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない
  - ・必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因になります。
  - ・歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。
- 火の中に入れてない
  - ・本製品(イヤホン及びスピーカー)には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
- スピーカーを他の製品に使用しない。また、スピーカーにイヤホン以外のものを入れない
  - ・火災・感電の原因になったり、ショートして故障するおそれがあります。

**注意** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

- 小さなお子様の手の届かないところに保管する
  - ・誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けられない
  - ・聴力障害などの原因になることがあります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
  - ・感電や故障の原因になります。

- ぬれた手で操作しない
  - ・故障や感電の原因になることがあります。
- LEDライトを人に向けて照射したり、点灯部を直視しない
  - ・視覚に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
  - ・破損・故障の原因になります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
  - ・落下してけがをすることがあります。また、破損・故障の原因になります。
- 充電コードを熱器具に近づけない
  - ・コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因になることがあります。
- ズボンなどの後ろポケットに入れたり、かばんの中に入れてままたまにしない
  - ・気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力加わるなどして、変形や破損、故障の原因になることがあります。
- イヤホン及びスピーカーに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
  - ・内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
  - ・変形・変色の原因になります。
- 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない
  - ・電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
  - ・コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
  - ・必ずプラグ部を持って抜いてください。
- 日本国以外では使用しない
  - ・本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外の接続による安全性は保証いたしかねます。
  - ・国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

## Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

### 【バージョンとプロファイル】

本機は、Bluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：イヤホン／HSP、HFP、A2DP、AVRCP スピーカー／A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。  
※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

### 【通信可能範囲】

本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

### 【セキュリティ】

本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

### 【機器認定について】

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。

イヤホン



007-AM0082

スピーカー



007-AM0083

### 【使用周波数と注意事項】

本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

### 【イヤホンのTWSとロールスワップ機能について】

TWS(True Wireless Stereo)は、2つのイヤホンをBluetoothによりペアリングすることで、ステレオサウンドを実現する機能です。また、本機のイヤホンはロールスワップ機能を搭載しており、音源となる機器とペアリングした後は、左右いずれかのイヤホンを単独でスピーカーから取り出した場合でも、追加のペアリング操作なしで使うことができます(シングル接続)。

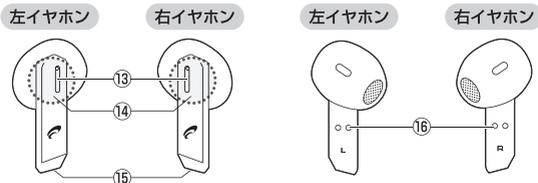
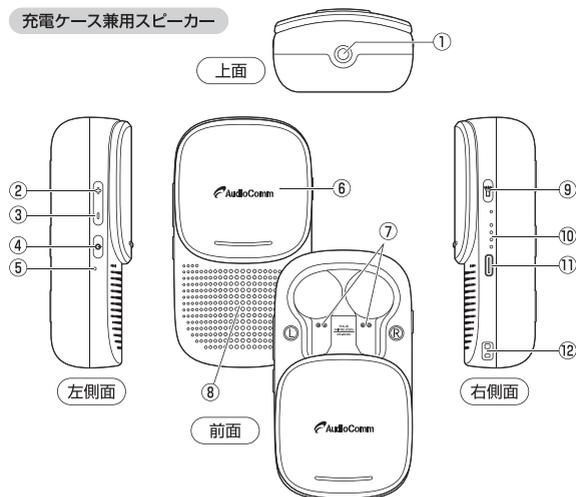
※ペアリングするときは、左右のイヤホンを2つとも取り出してペアリングしてください。片方だけでペアリングすると、もう片方のイヤホンが正しく認識されないことがあります。

### 医療機器近くで使用の際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

## 各部の名称

### 充電ケース兼用スピーカー



- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| ① LEDライト        | ⑩ 充電レベルランプ                    |
| ② +ボタン          | ⑪ スピーカー用充電端子 (USB-C)          |
| ③ -ボタン          | ⑫ ストラップ穴                      |
| ④ マルチファンクションボタン | ⑬ インジケータ                      |
| ⑤ インジケータ        | ⑭ マルチファンクションボタン<br>(タッチセンサー式) |
| ⑥ スライドカバー       | ⑮ 通話マイク                       |
| ⑦ イヤホン用充電端子     | ⑯ 充電端子                        |
| ⑧ スピーカー         |                               |
| ⑨ ライトボタン        |                               |

## イヤホンの装着方法

イヤホンを目穴に入れ、イヤホン自体を回しながら耳ひだの中に軽く押し込み、安定する位置に装着してください。

耳ひだの中に軽く押し込む



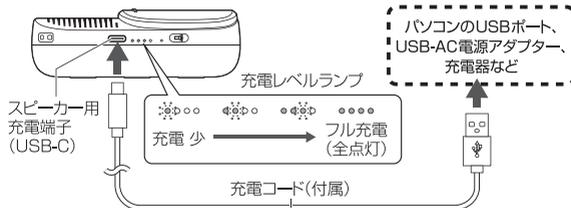
## 充電のしかた

はじめて使うときは、スピーカー、イヤホンともに十分に充電してください。

### スピーカーの充電方法

付属の充電コードを使って、図のように接続してください。

- 充電が進むにつれて、充電レベルランプの点滅(点灯)が増えていき、充電が完了するとすべて点灯します。
- 充電が完了したら早めに充電コードを取り外してください。接続を解除してしばらくすると、充電レベルランプは消灯します。



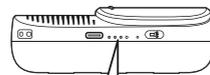
### イヤホンの充電方法

#### インジケータ



スピーカーにイヤホンを入れると、自動で充電が始まります。

- 充電中はイヤホンのインジケータ(赤)が点灯し、完了すると青色に変わって、しばらくすると消灯します。



イヤホン充電中は、スピーカーの電池残量が表示されます。

## 充電のしかた(つづき)

### ポイント

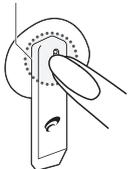
- スピーカーの充電には、必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- 電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。
- パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)を解除する。
- 家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

### ご注意

- スピーカーの電池残量が少ない場合、イヤホンへの充電が始まらないことがあります。必要に応じて、スピーカーを充電してください。
- スピーカーの充電は約3時間、イヤホンの充電は約1.5時間かかります(いずれも残量ゼロからフル充電の場合の目安です)。スピーカーを充電しながらイヤホンを充電する場合は、どちらもさらに長くなります。
- 許容動作環境(温度: 0℃~40℃、湿度: 20~80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにもかかわらず、持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは、電池の持続時間が短くなるがありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

## マルチファンクションボタン(イヤホン)の操作方法

タッチエリア



イヤホンのマルチファンクションボタンはタッチセンサ式です。指先でタッチエリアに軽く触れる(タップする)だけで、各種操作ができます。

シングルタップ 1回タップする

ダブルタップ…2回続けてタップする

トリプルタップ…3回続けてタップする

ロングタップ…タッチエリアに触れ続ける

## 電源のオン/オフ

### イヤホン

#### 電源オン

- スピーカーからイヤホンを取り出すと、自動で電源が入ります。
- 電子音が流れて、インジケータ(青/赤)が交互に点滅します。
- イヤホンを2つとも取り出すと、イヤホンどうしがペアリングされます(電子音が流れます)。その後、片方のインジケータは青(点灯)に変わり、片方だけ青/赤の交互点滅が続きます。
- インジケータ(青/赤)が交互点滅しているときは、接続可能なBluetooth機器を探している状態を意味します(サーチモード)。P.11~12を参照してペアリングしてください。

#### 電源オフ

- イヤホンをスピーカーに戻すと、自動で電源が切れます。
- スピーカーに電池残量があるときは、イヤホンの充電が始まります。
- Bluetooth接続中に片方のイヤホンだけスピーカーに戻した場合、もう片方のイヤホンはシングル接続となります。

### ヒント イヤホンを取り出した後、手動で電源を操作するには

- 電源を切るとき: マルチファンクションボタンを約5秒間ロングタップしてください。電子音が流れ、インジケータが赤く点灯した後、電源が切れます。片方のイヤホンの操作で、両方とも電源が切れます。
- 電源を入れるとき: マルチファンクションボタンを約3秒間ロングタップしてください。電子音が流れて電源が入ります。それぞれのイヤホンで操作してください。



### スピーカー

#### 電源オン

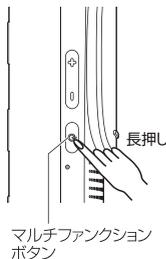
スピーカーのマルチファンクションボタンを約3秒間長押しすると、電源が入ります。

- インジケータ(青)が点滅し、電子音が流れてサーチモードになります。P.11~12を参照してペアリングしてください。

#### 電源オフ

電源が入っているときに、マルチファンクションボタンを約5秒間長押しすると、電源が切れます。

- インジケータ(青)が1回点灯し、電子音が流れた後、電源が切れます。



## ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機（イヤホンまたはスピーカー）とBluetooth機器（相手側機器：スマートフォンなど）を相互に初期登録する操作のことです。

※はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。

※イヤホンとスピーカーは、個別にペアリングが必要です。

### 1 イヤホンをペアリングする場合

イヤホンを2つともスピーカーから取り出し、相手側機器に近づけます。

●事前に相手側機器の電源を入れ、1m以内に近づけてください。

●イヤホンどうしがペアリングされた後、サーチモードになります（片方のインジケータは青・点灯、もう片方は青／赤の交互点滅）。

●必ず2つとも取り出してください。片方だけでペアリングすると、もう片方のイヤホンが正しく認識されないことがあります。

### スピーカーをペアリングする場合

スピーカーと相手側機器を近づけ（1m以内）、双方の電源を入れます。

●相手側機器→スピーカーの順で電源を入れてください。

●スピーカーの電源を入れると、電子音が流れた後、インジケータ（青）が点滅し、サーチモードになります。

### 2 相手側機器のBluetooth設定画面で本機を登録します。

#### Bluetoothの設定画面を開く

iPhone：[設定]→[Bluetooth]

Android：[設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

#### 本機を登録する

相手側機器のBluetooth設定画面で本機の名称が表示されたら、それを選択します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

イヤホンの名称

HSP-W530N-E

スピーカーの名称

HSP-W530N-S

※機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

イヤホン

電子音が流れて、イヤホンを使用できる状態になります（インジケータは左右とも青・点灯）。

スピーカー

電子音が流れて、使用可能な状態になります（インジケータは青・点灯）。

イヤホン・スピーカーともに、機器や使用アプリによってはマルチファンクションボタンで再生を始められる場合があります。

#### ヒントとご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3（プロファイル：イヤホン／HSP、HFP、A2DP、AVRCP スピーカー／A2DP、AVRCP）に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、お使いになる機器に応じて上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、ペアリングができません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- 本機のイヤホンとスピーカーを同じ相手側機器とペアリングすると、相手側機器のBluetooth設定画面で、イヤホン（HSP-W530N-E）とスピーカー（HSP-W530N-S）が、どちらも接続済み（または接続中）と表示されることがあります。しかし本機は、仕様上、どちらか一方からしか音声が出力されません（操作できるのも片方のみです）。意図しないほうと接続された場合は、使わないほうの接続を解除するなど、相手側機器で接続先を切り換えてください。
- サーチモードのまま約3分経つと、本機の電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- ペアリング完了後、Bluetooth接続中は、無動作状態（音楽などを聴いていない状態）が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまつと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、
  - ・相手側機器との間に障害物がある。または距離が離れている
  - ・本機または相手側機器の電池残量が減少しているなどが原因として考えられます。それらを確認しても改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。

## 音楽を聴くときの操作

### イヤホン使用時

### 左イヤホン

### 右イヤホン

シングルタップ	再生 ⇄ 一時停止 ※1	
ダブルタップ	音量を下げる	音量を上げる ※2
トリプルタップ	曲の先頭に戻って再生 ※3	次の曲を再生
ロングタップ	約2秒間…リダイヤル(P.14「通話に関する操作」参照) 約5秒間…電源を切る	

- ※1 再生中はインジケーターが消灯します(一時停止中は青・点灯)。  
 ※2 最大音量に達すると、一時的に再生音が消え、電子音が鳴ります。  
 ※3 直後にもう一度トリプルタップすると、1つ前の曲を再生します。  
 ※シングル接続時の操作：ダブルタップによる音量調節はできません。また、トリプルタップすると、左右いずれのイヤホン使用時も次の曲を再生します。

### スピーカー使用時

※スライドカバーを閉じてお使いください。

マルチファンクションボタン	押す	再生 ⇄ 一時停止 ※1
	長押し	電源を切る
+ボタン	押す	音量を上げる ※2
	長押し	次の曲を再生
-ボタン	押す	音量を下げる
	長押し	曲の先頭に戻って再生 ※3

- ※1 再生中はインジケーターが消灯します(一時停止中は青・点灯)。  
 ※2 最大音量に達すると、一時的に再生音が消え、電子音が流れます。  
 ※3 直後にもう一度長押しすると、1つ前の曲を再生します。

### ヒントとご注意

- 接続する機器や使用アプリによっては、動作が異なっていたり、動作しない場合があります。その場合は、相手側機器で操作してください。
- 充電電池の残量が少なくなると、
  - ・イヤホン：インジケーター(赤)が点滅し、約30秒ごとに電子音が流れます。
  - ・スピーカー：約30秒ごとに電子音が鳴ります。
 どちらの場合も、上記の動作を数回繰り返し、しばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。

## 通話に関する操作(イヤホン使用時のみ)

イヤホン使用時のみ操作可能です。スピーカーがスマートフォンと接続しているときは、スマートフォン側ですべて操作してください(スピーカーには通話機能がありません。音楽再生中に着信があると再生を一時停止しますが、着信音はスマートフォン側で鳴ります)。

電話に出る	着信音が鳴っているときにシングルタップ
通話を切る	通話中にシングルタップ
着信拒否	着信音が鳴っているときにロングタップ(約1秒間)
リダイヤル	ロングタップ(約2秒間) ※1

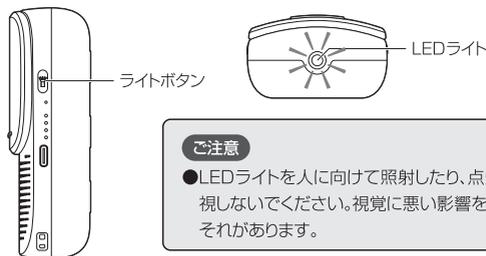
- ※1 直近の発信先にリダイヤルします。音楽再生中でも機能します。

### ご注意

- スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていると、着信があっても着信音が鳴らないことがあります。
- 接続する機器や使用アプリによっては、動作が異なっていたり、動作しない場合があります。その場合は、相手側機器で操作してください。
- 一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際しては切替操作が必要な場合があります。機器付属の取扱説明書でご確認ください。
- 衣服やマフラーなどで通話マイクをふさがないようにご注意ください。

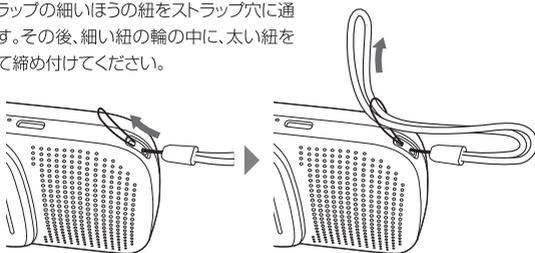
## LEDライト

ライトボタンを押すと、LEDライトが点灯します。もう一度押すと消灯します。



## ストラップの取り付けかた

ストラップの細いほうの紐をストラップ穴に通します。その後、細い紐の輪の中に、太い紐を通して締め付けてください。



## お手入れのしかた

必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、  
アルコールは使用しない

## 故障かなと思ったら

### ●充電できない

- ・本機とパソコンが正しく接続されていますか。
- ・付属品ではない充電コードを使用していませんか。
- ・充電コードを使って、本機とスピーカー用充電端子(USB-C)、USB-AC電源アダプターなどが正しく接続されていますか。
- ・USBハブなどを経由して接続していませんか。
- ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。
- ・<イヤホン充電時>スピーカーの電池残量が残りわずかになっていませんか。

### ●電源が入らない

- ・十分に充電しましたか。
- ・<スピーカー>マルチファンクションボタンを長押ししましたが(短く押ししていませんか)。

### ●ペアリングができない

- ・相手側機器の電源は入っていますか。
- ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。

### ●Bluetooth接続ができない

- ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。
- ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
- ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。

### ●音が出ない

- ・ペアリングしましたか。
- ・相手側機器内で、接続先(本機のイヤホンまたはスピーカー)が切り換わっていませんか。相手側機器で切り換えてください。
- ・本機または相手側機器の音量が最小になっていませんか。
- ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

### ●音声が届けたり、ノイズやエコー音がかかる

- ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

### ●Bluetooth接続中のスマートフォンに着信があっても、本機が応答しない

- ・スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
- ・一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください(スピーカーには着信応答機能はありません)。

## 主な仕様

電源	DC5V(USB給電：USB Type-C端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 イヤホン：3.7V 40mAh スピーカー：3.7V 600mAh
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3
対応プロファイル	イヤホン：HSP、HFP、A2DP、AVRCP スピーカー：A2DP、AVRCP
対応コーデック	イヤホン：SBC、AAC スピーカー：SBC
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
再生周波数帯域	20Hz~20kHz(A2DP)
音声出力レベル	イヤホン：110dB スピーカー：87dB
マイク指向特性/感度	無指向性 / -42dB(イヤホン)
スピーカー	口径36mm×1(4Ω)
スピーカー最大出力	約3W
充電時間	イヤホン：約1.5時間 スピーカー：約3時間 (残量ゼロからフル充電まで)
再生可能時間	イヤホン：約4.5時間(50%音量) スピーカー：約10時間(50%音量)
許容動作温度/湿度	温度：0~40℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
LEDライト	全光束：約2lm 照度：約41lx(距離100cm) 約145lx(距離50cm) 点灯時間：約25時間
外形寸法	イヤホン：幅18.5×高さ32×奥行19.2mm スピーカー：幅58.3×高さ104.7×奥行33.9mm
質量	イヤホン：約3.6g(1個あたり) スピーカー：約90g
付属品	専用充電コード、ハンドストラップ、保証書、取扱説明書

※通信方式、変調方式/周波数帯域、最大通信距離、再生周波数帯域、許容動作温度/湿度はイヤホン、スピーカー共通の仕様です。

※最大通信距離、充電時間、再生可能時間、LED点灯時間は目安であり、使用状況により異なります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。